

基本構想案に対するご意見とその対応

No.	質問・意見	対応	詳細
1	人が人を育てるという部分を大事にしているということはわかるが、基本構想案では目的と手段としての「施設一体型」と読み取れる部分があるため、もう少し内容を加えてもいいのではないか。	○	P7→◇南部地区小中一貫教育学校3つのコンセプトの説明部分に反映しました。 補足：小中一貫教育の目的は、義務教育9年間を連続した教育課程としてとらえ、児童生徒、学校、地域の実情等を踏まえた具体的な取組内容の質を高めることです。新しい学校が施設一体型の小中一貫教育学校となることから、そのメリットを最大限生かし、小学校6年、中学校3年という区分は維持しつつ、小中学生が混ざり合いながら学ぶ機会を創出するなど、学習や生活がゆるやかに接続する新しい学校文化を創造します。
2	諏訪市の教育について対外的にアピールしていくべきでないか。（諏訪を選んでもらうために教育のよさを全国に発信する。）	○	P9→6. 委員から出された付帯意見を踏まえた今後の検討事項へ反映しました。
3	児童クラブはどこに位置付けられているのか。ほとんどの家が共稼ぎの中、児童クラブの連携は必要。	○	P9→(2) 通学・周辺整備へ反映しました。
4	南部地区のように学校数が減少する場合には「小学校2校を1校に統合し、」といった文言を基本構想のどこかに明記する。	○	P6→4. 基本構想の目的（ゆめスクールプランの推進と教育大綱を基本理念として基本構想を策定）へ反映しました。
5	四賀小では青少年赤十字活動（JRC）があり、その一環として「防災教育」を行っている。中洲小、諏訪南中にはこの活動が無いので、防災機能の充実と一緒に「防災教育」という項目を加えて欲しい。	○	P9→(3) 地域に開かれた施設へ反映しました。
6	第1回推進委員会の内容（小中一貫教育を推進する理由、経緯、背景を住民にわかりやすく納得するように）を説明して欲しい。	○	P6→4. 基本構想の目的（ゆめスクールプランの推進と教育大綱を基本理念として基本構想を策定）部分に反映しました。
7	新しい学校をつくるアンケートについて保育園保護者にアンケートを実施すべき。	○	P9→6. 委員から出された付帯意見を踏まえた今後の検討事項へ反映しました。
8	3つのコンセプト「誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校」と「地域とつながり、地域に根差した学びを大切にする学校」は、子どもが主語だが、「多様性を認め合い、協働して学びあえる学校」は大人も学校も含まれている。表現の見直しが必要と感じる。	△	すべて「子ども」を主語としています。「多様性を認め合い、協働して学びあえる学校」については、自分と価値観が違う様々な多様性を認めていくことが基本となります。一方でそれは子どもの世界だけではありません。学校は子どもと教職員が共に学び、共に生活する場であることから3つのコンセプトはいずれも教職員も大切にする方向性を示していると考えます。

○ 基本構想案に反映する
△ 検討した結果、基本構想案に反映しないが、今後の参考にさせていただく

No.	質問・意見	対応	詳細
9	コンセプト1「誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校」→【インクルーシブ教育の推進】は、コンセプト2「多様性を認め合い協働して学び合える学校」に入れる。	△	P7→◇南部地区小中一貫教育学校3つのコンセプトの説明部分参照 補足：3つのコンセプトとそれぞれの項目は、推進委員会で出された「学校像」と「学校の特色」を学校部会で検討のうえ、現時点で明確に整理することが難しいことからそれぞれの項目を共通している方向性に3つのコンセプトとしてまとめました。そのため、それぞれのコンセプトや項目が独立しているものではなく、関連し合っているつくりとなっています。 なお、開校が見通せる段階になったところで、現在取り組んでいる小中一貫教育の深化、今後予定されている学習指導要領の改定などを踏まえながら、学校部会等においてカリキュラムの全体像や具体的な教育活動等を検討し、都度推進委員会に報告することとなります。ご意見はその際参考とさせていただきます。
10	コンセプト1【ICTやAI技術の活用】は、コンセプト2にも当てはまる。	△	No. 9参照
11	コンセプト1→【一人一人の多様性を前提に、多様な教育ニーズがある児童生徒に応じた学びの充実により、学力・体力や自己肯定感、非認知能力等の向上】はコンセプト2ではないのか。「多様性」という言葉がコンセプト1でも同じ意味で使われていることがコンセプト1、2に重複があり、わかりにくい印象がある。	△	No. 9参照
12	コンセプト2→【多様な専門人材の連携】は同じ【多様】といっても、コンセプト2でいう【多様性】とは異なるのでコンセプト2に入れるのは違和感がある。（前案の「人と人との関係を大切に作る学校」の施策ならよい。）	△	No. 9参照
13	公に示す基本構想は、表現のわかりやすさ、コンセプトとそれに対する施策のつながりの明瞭さが重要。学校部会案より前案の方が基本構想にふさわしい。再検討すべき。	△	No. 9参照
14	コンセプト1「誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校」に夢や志を持てる教育を盛り込んでいただきたい。	△	No. 9参照
15	コンセプト2「多様性を認め合い協働して学び合える学校」にトライ＆エラーを盛り込んでいただきたい。	△	No. 9参照
16	コンセプト3「地域とつながり、地域に根差した学びを大切に作る学校」に地域と学校が協働することが大切であるということを盛り込んでいただきたい。	△	No. 9参照

No.	質問・意見	対応	詳細
17	前案の施策「不登校支援の充実」が述べられていない。（コンセプト2の一部に述べられているが。）	△	不登校という言葉にマイナスのイメージを持つ方もいることを踏まえ学校部会で検討しました。P7→5. 基本構想→多様性を認め合い、協働して学びあえる学校→「◇教室以外の学びの場、学校外の学びの場との緩やかに繋がる環境の工夫」に包括しています。
18	国道バイパス建設に鑑み飯島交差点周辺の環境変化が予測され、敷地の確保に支障を来さないよう対応いただきたい。	△	P9(2)通学・周辺整備に含まれますが、関係部署と連携して協議し、具体的な要望として今後の参考とさせていただきます。
19	スクールゾーンの整備時に自転車専用道路も整備し、中学生の自転車通学の検討をしていただきたい。	△	No. 18参照
20	南中学校入口交差点から諏訪南中学校までの道がすれ違いができず、路面もガタガタなので整備をして欲しい。	△	No. 18参照
21	通学路点検で通学路の危険箇所を国、県、警察、キョロブラ、先生たちと歩いて確認したが何一つ改善されていない。信号機や横断歩道の設置は難しいとの回答。通学路点検を実施する意味があるのか。 中洲小の有効活用も検討されているようなので今から関係機関と共有し整備を進めて行かないと開校に間に合わない。通学路点検の過去の資料は共有されているのか。	△	No. 18参照 補足：通学路点検につきましては諏訪市通学路交通安全プログラムに基づき、学校・PTA・国・県・警察署等関係機関との連携により合同点検を実施しております。合同点検の際に抽出した危険箇所につきましては随時安全対策を施しておりますとともに関係機関内で情報共有も図っております。 また通学路点検結果につきましては諏訪市のHPでも公表しております。
22	グラウンド、体育館、プールはそれぞれ2つ必要と思われるが具体的な土地の買収は進んでいるのか。	△	P9(4)学校敷地に含まれますが、具体的な要望として今後の参考とさせていただきます。
23	閉校後の四賀小は悪意を持った行動による被害がないようしっかり管理していただきたい。	△	P9(5)跡地に含まれますが、具体的な要望として今後の参考とさせていただきます。
24	「そろえる」から「伸ばす」教育へ向かい、多様な他者がいることが前提として授業や生活を丁寧に行っていくためには人がこれまで通りでは不足している。このことを基本構想とセット或いは、その先に見据えた準備が進むとよい。	△	機会をとらえて国や県に要望するとともに、今後の参考とさせていただきます。
25	小中一貫校を建てる財源を知りたい。（既存の小中学校の耐震補強や建て替えを行うより安いと聞いたが根拠は）	△	財源については国の補助の対象となる見込みであり、新設等の場合、補助率が高く設定されています。なお、工事費については仕様により決まってくるため現時点で示すことは困難ですが、今後の基本設計で明らかにしていきます。
26	諏訪南中の校舎は新しい校舎が完成してから取り壊すのか。（建設時、子どもたちが授業を受けられる環境にあるのか不安なため。）	△	建設の工期や工法などは今後の検討項目となりますが、子どもたちが授業をはじめとする教育活動に支障をきたさない環境は確保します。
27	実際の学校運営が教育大綱の基本理念に即していないと感ずることがある。（知人の子は人間関係が問題で学校に行っていない。メンタルケアなどマンパワーに限度があると思うが…）	△	教育大綱の基本理念のもと誰もが心身共に健やかで幸せに未来を生き抜くため、それぞれの学校が学校運営を行っています。 また、それぞれのケースには専門人材を活用して、個別に必要な支援を行っているところですが、引き続き学校と教育委員会が連携して取り組んでまいります。

No.	質問・意見	対応	詳細
28	コミュニティースクールの充実に向けて南部地区3校のコーディネーター連絡会を立ち上げているので今後の情報共有をお願いしたい。	△	コーディネーター連絡会を主体的に立ち上げるなど、先進的な取り組みに感謝します。運営協議会等における検討に資するよう適切に情報共有を図ってまいります。
29	未就学の保護者に小中一貫校の具体的な話が届いていない。	△	推進委員会における協議の内容などをまとめた推進委員会だよりを各委員会後に地区ごとに回覧する他、リーフレットの全戸配布、関係する会議資料等のHP掲載などにより周知を図ってきましたが、ご要望を踏まえ、更に保護者の皆様に周知が図れる方法を検討します。
30	保育園児保護者の関心は高いと思われるので情報提供のフォローをお願いしたい。	△	No. 29参照
31	推進委員会の内容が保育園に周知されていない。知る方法を検討して欲しい。	△	No. 29参照